

乳がん高度検診・治療センター

NEW—すNO.101

センチネルリンパ節に転移があっても リンパ節をとらない! ?

乳がんが最初に転移しやすい場所として腋窩リンパ節（わきの下のリンパ節）が知られています。腋窩リンパ節の中でも、最初にがんがたどり着くリンパ節をセンチネル（見張り役）リンパ節といいます。

通常、手術前の検査でリンパ節転移を認めない方に対しては、手術中にセンチネルリンパ節のみを摘出し、顕微鏡の検査で実際に転移がないかを診断します（センチネルリンパ節生検）。転移がない場合は、腋窩リンパ節郭清（腋窩のリンパ節を周囲の脂肪組織も含めてひとかたまりに切除する方法）をする必要はありません。

一方、センチネルリンパ節に転移を認めた場合は、よほど小さな転移でない限り、腋窩リンパ節郭清を追加することが標準治療として行われてきました。

腋窩リンパ節郭清のメリットとデメリット

メリット

腋窩リンパ節を切除することにより、わきの領域の再発を防ぐことができます。また、正確なわきのリンパ節の転移個数を把握することができます。

デメリット

手術した側の腕のむくみ（リンパ浮腫）や腕・わきのしびれや痛みなど、術後の後遺症が生じることがあります。

腋窩リンパ節郭清省略症例の対象拡大!

近年の臨床研究において、センチネルリンパ節に転移があっても、一定の条件を満たす場合には、腋窩リンパ節郭清を省略してもその後の再発率や生存率に影響はなかったという結果が報告されています。その条件は以下のとおりです。

Check

- センチネルリンパ節への転移が2個以下
- 乳房温存術施行例で、術後に放射線治療を予定している
- 術後に適切な薬物治療を行う

当院でもこの臨床研究の結果をもとに、上記の条件を満たす場合は、患者さんと相談し省略を希望された場合は、腋窩リンパ節郭清を省略する方針となりました。

今後も当科では、最新の情報を参考に、メリットおよびデメリット双方を十分に検討しながら治療方針を決定してまいります。

乳腺外科 高橋裕代



市立貝塚病院 TEL : 072-422-5865